

2008.6 創刊準備号 vol.

1

Libra | on

りぶら
Libra 総合館長
巻頭インタビュー

あなたは
「Libra」で
どう過ごす？
岸田館長は？



リブライオン © SSC

タイトルが変わったよ！

リブライオン

[プラザNEWS] から [Libra | on] へ

そうするとみんなの期待度が変わってくる。



総合館長 岸田孝一
ロングインタビュー!

2008年11月1日、図書館を核とした

生涯学習のための複合施設

「岡崎市図書館交流プラザ・Libra」がオープンします。

初代総合館長となる岸田孝一さんに

Libraへの熱い思いを語っていただきました。

何か一つをみせたい。

「図書館変わったね！」と言われように。

今年4月、Libraの総合館長に就任された岸田孝一さん。Libraとの縁は、遡れば8年前からになる。

その頃岸田さんは、中心市街地活性化のための施設は何をつくるか、ということを担当していた。その2大プロジェクトがまさに「げんき館」と「Libra」。

「たまたま、この3月まで一年間、げんき館にいて…ある意味、何か縁があるのかな。だから僕的にはLibraに思い入れがある」

「当時、日本全国の中心市街地が衰退している中で、活性化の基本計画を作って活性化しましょうよというときに、まずは商業の活性化が中心だった。だけど衰退化したのは、大きな商業施設が全部外に出て行ってしまったのが原因。それを持ってくるというのが、はたして時代にいいのかどうかと、そんなところで模索していて…」

色んな公共施設を持ってくるというのも一つの方法だろうし。でも、基本的には住人。そこに人が住むことの方がより大事だよと思った。

そこに住んでいて、住む規模の商業施設があり、住む以上、公共施設が近くに欲しいよ、というね。そういうのが活性化かな…って」

商業や公共施設を持ってくることではなく、＜活性化の中心は人である＞という考えを当初から貫いてきた岸田さん。今まさに、そのような考え方が全国的に主流となっている。

岸田さんは、既成概念にとらわれず、時代を先取りする嗅覚に優れているようだ。これまで、公共施設での先進的な事例に色々関わってきている。例えば、中央総合公園にあるレストランや、ミュージアムショップ。市が100%出資した会社を立上げ、美術博物館の閉館時も公園を訪れた人全体が使えるようにした。中央総合公園でウエディングを行うことができるのも、その時、民間のノウハウを取り入れたからこそだ。

また、当時まだ珍しかったミュージアムコンサートを手がけた。

「＜JAZZの街角＞というのを3回やってね。内田修先生のコレクション展示とコンサートを美術博物館で。その頃はまだ、美術館でコンサートを開くというのは考えられない時代だった。だからミュージシャンにとっても美術館で演奏するというのはステータスだったみたいだね。デビューしたてだったケイコリーや、綾戸智恵が来てくれた」

その内田修ジャズコレクションの展示室もLibraにある。岸田さんご本人も「今まであちこち部分的に関わった事が全部Libraにある」と感慨深げだ。図書館を核として、複合施設の強みを活かし、新しく連携をとって＜提案のできる図書館＞にしたいと岸田さんは言う。



関わって初めて図書館の凄さを思い知ったという岸田さん。少し興奮気味に、その情報量や貴重な資料の存在を教えてくれた。

「でも、沢山引き出しがあっても、図書館はそれを利用者自身に引きせようとしているから活用されない。引き出し方が分からない人が多い。だから、図書館側が引き出し方などを提案する必要がある。そういった提案のできる企画班が図書館に必要」

また、「図書館のイメージというのが無い」とも。「静かに勉強するためだけの図書館ならば山の

中にあったほうがいい。全く新しい図書館のイメージを作っていきたい。図書館変わったねと言われる何か一つをみせたい」と目を輝かせて言う姿はまさにクリエイター。

「せっかく複合施設になっても、図書館が変わらないとLibraが小さくなってしまいます。生涯学習をとりこんで、複合施設にしたことで相乗効果が生まれ、人が集まることで活性化。その中でテーマ性を持ちたい。

例えば、全館で共通のテーマに沿った企画が、図書館でもホールでも会議室を使った講座でも行われているといった、そういう状態を作っていきたいし、ぜひ皆さんにもアイデアを提供してもらいたい。

行政側が何か用意して、はいどうぞ、この様に使って下さいではなく、市民の皆さんが、Libraをこんな風に使いたい、あんなこともしたいと、どう利用しようか考えながら使っていてくれればいい。

そういう意味でリブラサポーターの皆さんには期待している。今後、退職した団塊の世代が増えていくのだけれども、Libraを生きがいが見つけれられる場にしたい」

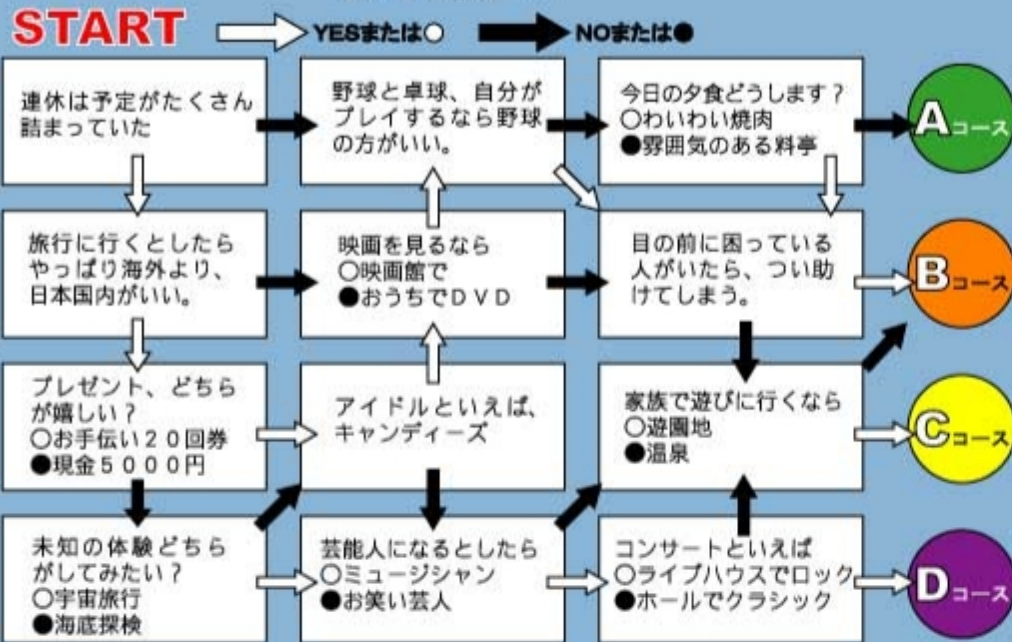
利用者の皆さんが、Libraをそういう目で見ていくことによって、市民と共にLibraが発展していくことを、初代総合館長として、いや一人の市民として望んでいる。

「どうせ叱られるなら、やらないで叱られるより、やって叱られよう。やるなら楽しくやろう」というのが仕事の上でのモットー。これでベストと思ったら止まる。ベストよりベターを更新していく方がいい。常にベターを求めて岸田さんは走り続けてきた。そしてLibraを舞台上に、これからも走り続ける。

そんな岸田さんも、「今、一番ハマっていることは？」との質問には「孫と遊ぶこと。1歳4ヶ月の女の子。安らぎ、癒しだね」と、顔をほころばせ、照れながら答えてくれた。

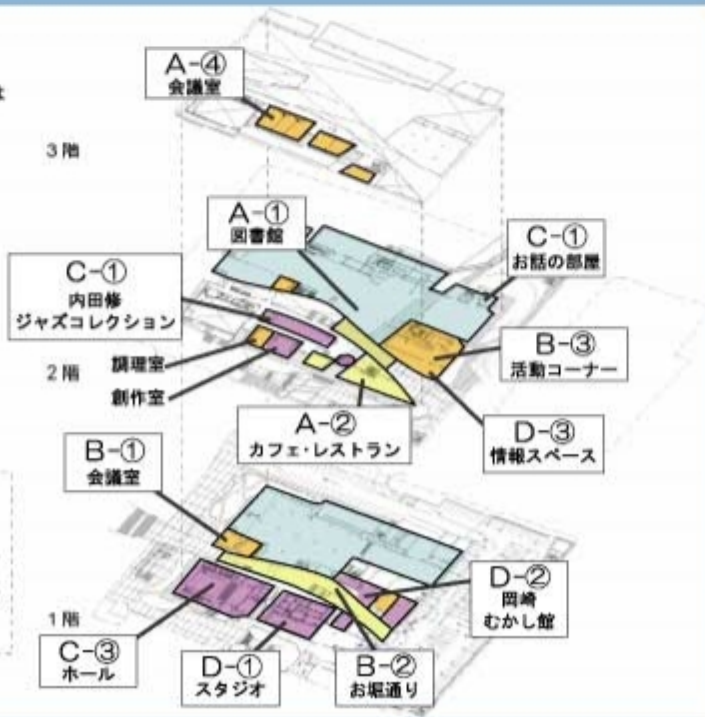


いよいよLibraも11月1日にオープンです！どんな楽しみ方をしようか考え中の皆さんも、ご指南チャートにおまかせ♪自分にピッタリのコースを見つけて、さあ、あなたもLibraライフをLet's Enjoy!!



■施設構成図

活動場所の前の番号は右ページの
・Aコース
・Bコース
・Cコース
・Dコース
それぞれの①～④と対応しております。



勝手に

Libraツアーガイド

岸田さん
オススメ
コース！

Aコース
ゆったり、ゆったり過ごしたい方にLibraはオススメです。

10:30~ ①雑誌・新聞をパラパラと
今日は休日。特にすることもないのでLibraに。図書館で暇つぶしでもしよう。

11:50~ ②ランチ！
Libraに入っているカフェ・レストランで昼食。同じ施設内だから便利！チーズケーキは絶品！

12:40~ ③昼寝…ZZZ…
木陰で一休み。。。お気に入りの昼寝場所は、みんなには秘密♪

13:30~ ④講座を受講
飛び入り参加OKの面白そうな講座をやっていたので、参加してきた。フムフム。なるほど。

Bコース
市民活動をバリバリやってるあなたはこんな感じ！？

10:00~ ①サークル活動に参加
Libraの貸し会議室で、所属しているサークルの会議。今後の予定について話し合った。

12:00~ ②偶然ばったり！
会議が終わって、お堀通りを歩いていると顔見知りか・・・来週、創作室でボードハウス作りのワークショップがあるので、お手伝いに来て欲しいと頼まれちゃった！

13:00~ ③打ち合わせ
多言語での読み聞かせをやるために、国際交流センターの方と、図書館の司書さんと、打ち合わせ。

Cコース
Libraはご家族みんなで楽しめます♪

14:30~ ①お話の森
家族でLibraに。「おはなしのへや」で、子どもとお母さんが読み聞かせを楽しんでいる間、お父さんは、お気に入りのレコードに聞き惚れているみたい…。

17:00~ ②お買い物
コンサートまで、ちょっと時間があるので、ついでに街へ出てウィンドウショッピング♪

19:00~ ③JAZZコンサート！！
子どもをLibraの託児サービスにお願いして、夜は久々のデート気分夫婦でコンサート。

Dコース
クリエイティブなあなたや学生さんもLibraなら大満足！

14:00~ ①バンドの練習
スタジオで思いっきり練習！！いつか、ここからメジャーデビュー！？

16:00~ ②宿題が・・・
学校の宿題で、岡崎の歴史のレポート提出…。むかし館をちょっと見学して、なんとかしよう。

16:30~ ③ライブいつあるのかな？
地元で活動しているバンドなどのライブ情報を集めてから帰ろう。

17:00~ ④新しいギター欲しいな～
Libraでのバンド練習の帰りは毎回、康生の楽器屋さんに、つつい寄ってしまいます。

注 これは、パンフレットを基にしたフィクションです。
Libra開館後は、ぜひあなたの素敵なオリジナルコースを教えてください。

りぶらサポーター 支援会議 (SSC)

SSCは、りぶらサポーターの活動支援や、プロジェクト活動・交流会を円滑に運営することを目的とし、プロジェクトリーダーやりぶらサポーター事務局・行政関係者により構成され、月1回の会議を開催してきました。

Libraが目指すところは「市民が気軽に訪れて楽しく利用することができる施設」、「交流や周辺地域の賑わいを生み出す施設」、「図書館を核とした生涯学習施設」です。SSCはこれまでの活動を通して、それを真に実現するためには、市民がその運営に積極的に参画する仕組みを継続的に確保する必要があることに気づかされました。

そこで今年度のSSCは、Libraの活性化を担うプロジェクトを進めながら、岡崎市全体の文化向上および生涯学習の発展に寄与することを目的に、行政から自立し、かつ対等な関係を保ちながら協働する市民活動団体として、「りぶらサポータークラブ(仮称)」の設立を目指し、活動していくことになりました。

りぶらにおける託児システム およびスタッフ育成に関する研究

りぶらでのイベント開催時だけでなく、図書館や講座の利用時にも気軽に利用できるような、託児サービスの仕組みやスタッフの育成について研究を深めます。そして、実際に機能するサービスが提供できる組織作りや環境を準備していきます。オープニングイベント時の託児活動協力を目指し、開館後の活動につなげていきます。

オープニング イベント事業

11月1日にりぶらが開館します。生涯学習施設として、図書館・ホール・会議室などが利用できるようにします。複合施設として施設全体の活用をめざし、多くの団体や個人と連携し、各関係団体や個人を繋げて、これからのLibraでの活動を活発にするため、まずは、オープニングイベント事業を開催します。

OKAZAKI 情報コンビニラック

現在市内14箇所で運用しているOKAZAKI情報コンビニラックの設置を、11月をめぐりに市内20箇所に設置し、同時にOKAZAKI情報コンビニラックへの情報の配布・差し替え・管理の仕組み作りを行っていきます。同時に、関係各位に働き掛けて情報供給の仕組み作りにも取り組む予定です。

岡崎図書館未来企画

平成19年度に開催した「これからの図書館を考える会」で行ってきた、図書館の評価指標づくりを継続します。11月までに評価指標の内容を精査し、アンケート項目を決めて次年度の始めにアンケートを実施します。翌年の事業に反映できるように、7月までに提言書を提出することを目標にします。

りぶらサポーター クラブ設立準備会

SSCおよびりぶらサポーター全体会の準備会として活動します。

1. りぶらサポータークラブの設立準備に向けて、趣意書・会則・組織図を完成させます。
2. りぶらサポーターの活動を統合し、設立後や次年度の会の事業計画を考えます。
3. 会員募集要項の確定し、募集を開始します。

りぶら・ぶらりマップ 作成プロジェクト

クオリティの高い「りぶら・ぶらりマップ」を発行することで、有料での配布を試みます。月1回の企画編集会議、参加者各位での岡崎まち歩き取材、ウェブシステムの構築を行います。

10月に、多くの市民・観光客向けの「りぶら・ぶらりマップ」を発行し、11月の開館に合わせて配布します。

デジタル映像 活用プロジェクト

昨年のデジタル城下町製作プロジェクトで行った映像発掘をさらに進め、収集した各所映像の活用方法について研究を進めます。調査研究の基となる資料発掘のため、岡崎市役所や観光協会などを巻き込んだ組織を作っていくことを目標に、プロジェクトのP.R資料を作り、関係者に対する説明会をおこないます。

Libra NEWS

Libraオープンに向け、情報誌(Libra I on)を発行することで、Libraとりぶらサポータークラブの認知度を上げていきます。また、人々がLibraに来館したり、サポーター活動に関わるきっかけ作りをしていきます。今年度は全12ページ構成で、5回の発行予定です。一緒に編集・作成作業をしてくれる仲間を増やし、育てたいと思います。

庭で遊ぼう プロジェクト

10月までに「りぶら」の庭～伊賀川～岡崎公園の散策ルートを使った自然体験イベント等の企画書をまとめます。「りぶら」オープニングイベントで、自然体験プログラム第1弾の開催を目的としてバードハウス展示会を企画し、関係各位を招いて講演会・バードハウスの組立・設置・観察等、継続的な活動を行います。

岡崎むかし語りの会

岡崎にも沢山の昔ばなしや伝説が伝えられています。これらの昔話を発掘し語り伝えることにより、より多くの人に「岡崎」を知り、親しんでもらえるようにします。また、活動を通して他の活動グループとの連携を図り、むかし話の舞台や背景を訪ね、地元の郷土史家などの案内や解説を含めた報告書を作成します。

夢をかなえるゾウ

水野敬也
飛鳥新社

平凡なサラリーマンのもとにインドの神様ガネーシャが突如として現れ、家に居座り共に暮らします。ガネーシャは、関西弁でしゃべる陽気なドラえもんのような存在だが、時として世界の偉人のありがたい話(苦勞話や生き方)を語ってくれる。ドタバタコメディかつ人生啓蒙の良作です。(ミッチー)



マーサの幸せレシピ

監督：サンドラ・ネットルベック
出演：マルティナ・ゲテック

キャサリン・ゼター・ジョーンズの主演でもリメイクされていますが、こちらはドイツのオリジナル版。美味しい料理は作れても、母親を亡くした娘との関係を美味しくするのは難しい。ましてや、自分のテリトリーを私天気がうまいイタリア人シェフに脅かされるとなると、職場の人間関係もますますなる一方、どうする、私？ ケース・ジャレット・トリオのピアノもたっぴり聴けます。(e3)



読む proto-culture 聴く 観る

PORTRAIT IN JAZZ

BILL EVANS TRIO

あまりにも定番過ぎるのですが、あえて... 私がまだ10代だった頃に、生まれて初めて買ったJAZZのCDがこれ。オシャレなピアノの音色が、JAZZ初心者にも聞きやすい1枚です。知的で上品な音の使い方と、疾走感溢れるリズムがカッコいい!! (aya)



サクリフェイス

近藤史恵
新潮社

自転車ロードレースチームが舞台のミステリー。競技を知らなくても楽しめるのは、ディック・フランシスの競馬シリーズと同じで、主人公のストイックさが魅力。元彼女の善乃は、シッド・ハレーが失くした左腕かも。曾田正人の「シャカリキ」(ビッグコミックス:小学館)も読み返したくなった。(e3)



夏草の賦

司馬遼太郎
文春文庫

土佐の武将・長曾我部元親。この作品は、彼の結婚から長曾我部家の衰退までが描かれたものです。蘭病こそが勝因だと語る元親。結局は一介の武将に過ぎなかった現実や晩年の愚行もあったけれど、その弱さのおかげで一個人としての彼がずいぶんと身近に感じられ、だからこそ私は彼の凄さに魅せられたのだと思います。(きよんきよん)



読み聞かせコーナー

匠の会体験ブース

城北中オーケストラ部
オープニング演奏



3/15 プレLibra交流会

集合写真

たくさんの方に来ていただき、ありがとうございました。



4/6 家康行列に参加

ディキシーバンドのリズムに合わせて、LibraPR隊として元気良く行進!



4/27 スプリングフェスタ

Libraロゴ花の寄せ植え

LibraのPRブースの展覧と、クイズコーナーなどでステージに出させてもらいました。

ここがすごいよ！Libra自慢！

スタジオがすごい！

ダンスや音楽の練習ができるスタジオには録音機器もあり、デモテープなどの作成が可能です。

ホールがすごい！



プラグド・ミュージック対応のホールでは、本格的なジャズコンサートが楽しめます。

図書館がすごい！



広々とした新図書館は、面積が今までの3倍以上。収蔵資料の量も種類も大幅UP！視聴覚ブースも設けられ、CDやDVDも楽しめます。また、ICTタグの導入や、ビジネス支援、対面朗読などの新サービスも始まります。



カフェがすごい！

チーズケーキが絶品！生涯学習の一環として、ソムリエによるワイン講座が開かれるかも？



ジャズコレクションがすごい！

内田修ジャズコレクション展示室では、ここでしか聞くことのできない貴重な音源がたくさん！

いろいろすごい！

駅前留学ならぬ、街中留学？

図書館では多言語の新聞・雑誌が用意され、Libraに外国人支援センターが入ることによって、岡崎在住の外国の方たちも利用しやすくなります。Libraで異文化交流を広げよう！

市民ボランティアがすごい！

建物の基本設計段階から現在に至るまで、りぶらサポーターとして大勢の方がLibraの誕生に関わっています。昨年だけでも参加者の延べ人数は1000人を越えています！

活動支援がすごい！

会議室や調理室、創作室が完備され、情報コーナーや印刷作業室なども充実。簡単な打ち合わせなどができるフリースペースもあります。市民活動総合支援センターでは、皆さんの自主的な活動や学習をサポートしてくれます。

他にもいろいろすごいことが！！
11月のオープンを楽しみにしてください。

りぶら Libra

Libraに関係あるような無いような
どうでもいいんだけど
知っているとうちょっと面白い

ちよっとしたはなし

建物編・・・2

「ブラザNEWS」から「Libra I on」に名前が変わって誌面リニューアルされても、このコラムはまだ健在！さて、建物の工事も終わり11月のオープンを待つばかりのLibra。今は、家具などの備品がほとんど入っておらず、ガランドウな状態です。それが入るのは9月過ぎてからの予定。図書館やジャズコレクションは引越し作業に追われています。

建物の南北を貫く通路を「お城通り」、東面を「お堀どおり」というのですが、なんと！！「お城通り」では50mまで、「お堀通り」では100mまでできてしまいます！
その交差するところにはキーストーンが埋め込まれてますのでオープンしたら、確かめに行ってみてください。
注：危険ですので、人の居るときは歩かないようにご注意ください。

～Libraご利用案内～

所在地：岡崎市康生通西4丁目71番地
駐車場：約300台 駐輪場：約300台

開館時間

9：00～21：00
(ホールの利用にあつては22：00まで)

閉館日

毎週水曜日（祝日の場合は開館）
及び年末年始（12月29日～1月3日）

借りることのできる施設

- ・ホール・スタジオ・創作室
- ・会議室・和室・調理室
- ・ストリート広場

借り方

- ホールは利用日の1年前から予約可能
 - ・利用したい日の1年前の月の1日から予約できます（例：利用日が2009年12月25日の場合→2008年12月1日から予約可能。）
 - ・同じ日の利用希望者が多数居る場合は抽選。
- 102会議室は年度を通して定期的に利用できます
 - ・毎年2～3月に翌年度分の抽選会を行い、1年分の利用を決めます。
 - ・図書館に隣接するため、音の出るもの及び運動での利用はできません。
- その他の施設は半年前から予約可能
 - ・市民活動団体は7ヶ月前から予約できます。
 - ・窓口、予約システム、電話により申し込み、受付順で予約が確定します。
 - ・ストリート広場は全体利用あるいは4つに分けられたブロック単位かつイベント利用とし、原則的に㎡単位の貸し出しは行いません。

ほかの図書館は どんな感じでしょう

あなたのセカンドオフィスに。もうひとつの書斎に。平日夜10時までご利用いただける、いままでにない「図書館」です。

施設案内の冒頭に上記の文を掲げている千代田区立図書館は、平成19年の4月より指定管理者によって運営されている。

特筆すべきはコンシェルジュの存在。本探しのお手伝いや利用案内はもちろんのこと、図書館の見所やコンセプトを紹介しながら館内を回るガイドツアーを行っている。

本探しも館内の本に留まらず、古書店の案内や、新品図書購入のための書店への在庫確認も行ってくれる。それだけではない。街の玄関口として街案内を行っており、観光案内、公共施設や文化施設の案内、レストランなどの各種店舗の紹介、イベントや展覧会の情報

その7 千代田区立図書館の場合…

から、おすすめスポットの紹介も。「館内のこと、それ以外のこと、どんな些細なことでもお気軽にお尋ねください」とあるとおり、例えば「ランチにカレーが食べたいのですが」と問い合わせると、手作りリストから希望に沿う近所のカレー屋さんを紹介してくれる。

図書館を「知識を消費する場所」から「知識を再生産する場所」へと転換させるように発展していくことを目指したサポーターズクラブが存在し、多くの会員さんが、ミニ展示の企画やセミナーの開催、広報誌の発行などに協力している。

また、小さいお子さんを持つ方が、ゆっくりと図書館内で調べたり学習できるよう、お子さんを一時的に預ける託児サービスも定期的に行っている。たしかに、いままでにないしかし、これからの「図書館」である。

今後の予定

りぶらサポーター全体会

今まで、交流会として行ってきた、りぶらサポーター全体が集まる会です。オープンな場ですので、初めての方もお気軽にご参加ください。

問合せ先：岡崎まち育てセンター・りた
0564-45-4560

全体会1

7/12(土)
14:00～(予定)

場所：コミュニティ
サテライトオフィス
(松坂屋6階)

全体会2

9/24(土)
14:00～(予定)

場所：コミュニティ
サテライトオフィス
(松坂屋6階)

Libraフォーラム

11/08(土)
14:00～(予定)

場所：
岡崎市図書館交流プラザ
Libra

りぶらPRキャラバン

3つの地域交流センター各館でのイベントにあわせ、りぶらPRのキャラバン隊が向かいます！Libraや、りぶらサポーターの活動を紹介します。

問合せ先：市民活動総合支援センター
0564-23-6909

1

夏休み昔の遊びフェスタ

7/27(日)

南宮崎地域交流センター
よりなん

2

なごみん横丁

8/09(日)

北部地域交流センター
なごみん

3

やはぎキッズランド

8/23(日)

西部地域交流センター
やはぎかん

編集後記

「Libra | on」に名前を変えてリニューアル。新しくなったこの冊子、どうですか？新しい制作スタッフも加わって、心機一新がんばります。

本やCD、映画などを紹介する新しいコーナーもできました。みなさまからの投稿もお待ちしております。右記の問い合わせ先へご連絡ください。他にも、ご意見ご要望、原案作りのお手伝いを希望の方、両手を広げて待っています。

発行・編集：りぶらサポータークラブ設立準備会
「LibraNews」プロジェクト

問い合わせ先：NPO法人岡崎まち育てセンター・りた 三矢
TEL: 0564-45-4560 (火・水・木・金 10:00~17:00)
FAX: 0564-45-1560
e-mail info@okazaki-lita.com

(件名に「りぶらサポーター活動」を明記ください)